

# 平成25年度事業計画

公益財団法人 千葉市教育振興財団

## 第1 事業活動方針

平成25年度は、公益財団法人として新たにスタートする年であり、当財団の目的である「市民のため、教育及び文化に関する事業を総合的に振興することにより、心豊かで活力に満ちた市民生活の向上に寄与する。」ことを目指すとともに、千葉市を補完する団体として「千葉市生涯学習推進計画」及び「千葉市文化芸術振興計画」等を踏まえ、教育、文化及び文化財に関する各種事業の積極的な展開を図る。

千葉市生涯学習センターでは、市民ニーズに基づいた学習活動を総合的に支援していくため、生涯学習に関する情報の収集・提供及び相談事業、講座・講演会等の開催事業、指導者等養成事業、調査及び研究事業、メディア学習事業のほか、生涯学習活動の支援に関する事業及び施設の維持管理業務や貸出等の施設管理業務を行う。

千葉市美術館では、美術に関する市民の知識の向上を図るとともに、市民に親しまれる美術館を目指し、企画展6回・所蔵作品展5回を開催する。

また、教育普及事業として学芸員とボランティアスタッフとの連携により幅広い事業活動を展開するほか、展覧会中に、講演会や子ども向け関連イベント等を開催することにより、美術に関心を持つ人々の底辺拡大を図る。美術品収集、保存、調査研究事業等もあわせて行う。

千葉市民ギャラリー・いなげでは、市民の芸術活動の場として施設の貸出しを行うとともに、地域の商店街や各種学校等と連携を図りながら展覧会、講習会及びイベント等を企画・運営し、地域アートの拠点として地域に根ざした美術文化の発信に努める。

また、国の登録有形文化財である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の公開にあたっては、市民、特に次代を担う子どもたちに、貴重な文化遺産に親しむことにより郷土の豊かな歴史や文化への関心を高め、千葉市民であることに誇りを持つことができるよう積極的な広報に努める。

埋蔵文化財の発掘調査及び普及事業として、土地の開発等によって失われつつある埋蔵文化財を記録として後世に伝えるため、文化財の適正な保護と効率的な調査を行うとともに、巡回展及び出前授業等を通して、埋蔵文化財の意義並びに保護に関する普及啓発活動を行う。

## 第2 事業計画の内容

### 1 千葉市生涯学習センター

#### (1) 指定管理受託事業

##### ① 生涯学習事業に関する業務

##### ア 生涯学習に関する情報の収集・提供及び生涯学習相談事業

市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習情報の収集・提供に努めるとともに、きめ細やかな生涯学習相談を効果的に行うことにより、適切な学習機会を提供する。

生涯学習に関する情報の提供については、中高年層に利用頻度の高いポスターやチラシ・市政だより、千葉市生涯学習情報誌（ちばまなびの森）等を生涯学習広場に配架・掲示し、生涯学習に関する情報を提供する。さらに、幅広く市民への利用促進を図るため、まなびネットやホームページの充実を図る。

また、調査・資料室の図書資料は、生涯学習・社会教育に関するものが中心であり、大学などの高等教育機関のほか、公民館などの社会教育機関等の職員が利用しやすくなるよう利用方法の改善を図る。

生涯学習相談については、専門のスタッフ（相談員）を配置し、市民の相談に対し、きめ細やかな対応を行い、相談者の学習意欲がさらに向上するような助言や情報提供に努める。

事業名称	内容（講座等）
生涯学習に関する案内情報の整備・提供	<p>1 生涯学習情報の収集・整理・提供（生涯学習広場の運営） 積極的に最新の生涯学習に関わるポスター・チラシ、パンフレット等の案内情報を収集・整理し、閲覧・掲示・一部は持ち帰り等での提供を行う。提供する案内情報の種類は施設案内、講座案内、イベント案内、大学・大学院社会人入試、公開講座、通信教育、定期刊行物、名簿・サークル一覧、参考資料等。</p> <p>生涯学習広場には学習相談員を配置し、市民からの個別の相談に応じた学習情報提供を行う。</p> <p>2 生涯学習情報提供システム「ちばまなびネット」の運用・管理 『ちば市政だより』に掲載される講座・イベント情報を、生涯学習情報としてデータを作成・入力し（毎月1日・15日）公開する。</p> <p>3 普及・啓発事業</p> <p>(1) センター情報紙「講座・イベント情報」の発行 年6回発行し、区役所、学校、生涯学習関連施設等へ配布する他、ホームページで閲覧に供する。</p> <p>(2) 生涯学習情報誌「ちばまなびの森」の発行 生涯学習に関する情報誌は、年3回（7月・11月・3月）発行し、区役所、学校、生涯学習関連施設等へ配布する他、ホームページで公開する。夏休み前の7月号では、市内小中学校の全児童生徒に配布し、生涯学習への参加を促す。</p>

	<p>(3) 企画展示</p> <p>市民の生涯学習に対する関心を高めるため、講座の紹介や地域の生涯学習の様子、ちば生涯学習ボランティアセンター登録者の活動等をアトリウムガーデンや生涯学習広場、調査・資料室等の展示で紹介する。</p>
生涯学習関連図書資料の収集	<p>1 専門情報の収集・整備</p> <p>生涯学習・社会教育に関する図書、刊行物、行政資料、団体の資料、雑誌等を購入や寄贈依頼等の様々な方法により収集・整備し提供する。</p> <p>2 調査・資料室の運営</p> <p>職員を配置し、資料等の閲覧の受付を行うとともに、市民からの相談等に的確に対応する。また、公民館、市内小・中・特別支援学校及び大学等の高等教育機関に対して図書・資料の貸出を行う。</p> <p>3 蔵書管理システムの運用・管理</p> <p>収集した資料の書誌情報はデータ化して適正に管理するとともに、蔵書データをホームページから検索できるよう利便性を図る。</p>
生涯学習相談	<p>1 生涯学習相談員による相談の実施</p> <p>(1) 生涯学習相談</p> <p>相談は面談、電話、FAX、ホームページ、メール等から受け付ける。相談内容の記録を蓄積し、かつ相談員の間で共有化することによって、複数の相談員で行っている学習相談業務を円滑に進める。</p> <p>(2) ボランティアコーディネート</p> <p>ボランティア活動の場を提供するため、ボランティアセンターの利用については、市内公共施設（市民団体サークル・自治会を含む）等の利用に限り依頼に応じてコーディネートを行う。また、コーディネート成立後は、各施設でボランティア活動の推進を図る。</p> <p>(3) 生涯学習出前相談</p> <p>学習者・学習希望者の求めに応じ、学習活動を行ううえでの様々な問題解決を図り、地域や公共施設等と連携、協力を強化することにより、より多くの市民に生涯学習を勧めるため、出前相談を実施する。</p> <p>2 生涯学習相談員の養成</p> <p>市民からの相談に対し複数の相談員が共通した対応ができるように生涯学習に関する専門的な知識・技能に関する研修、他の生涯学習施設の現地研修、相談事例の報告や対応、課題等についての協議等を定期的に行う。</p>

## イ 生涯学習に関する講座、講演会等の開催

千葉市の魅力を市民に伝えるため、「ちばカレッジ」（千葉市の歴史や文化、地域の特性等を踏まえた学習）のほか、地域学（ちば学）の推進に取り組み、千葉市らしさのある学習機会を提供する。

市民一人一人の生涯学習活動への支援及び学習ニーズに応えられるよう、多様なプログラムを展開するとともに、より主体性の高い学習に繋がっていくよう講座・講演会等を開催する。

事業名称	内 容 (講座等)	予定回数
ちばカレッジ	「ちば」に関わる事象を対象に講座を実施する。 1 ちばの歴史に学ぶ (仮称) 2 ちばの産業に学ぶ (仮称)	1 0 1 0
地域学 (ちば学) 推進事業	ちばの歴史、文化、産業などについて気軽に学ぶことができるよう学習機会の充実を図る。 1 遺跡発表会 2 古代の生活にふれる体験教室 3 市民向け歴史講座 4 市民向け歴史講座 (上級編) 5 大人のための社会科見学 6 子供向け地域学講座 (千葉市ものしり検定) 7 市民向け地域学講座 (仮称) 【新規】 8 埋蔵文化財に関する展示 (仮称) 【新規】	1 1 3 2 1 4 3 3
現代的課題学習	多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて、年度ごとに学習プログラム化する講座と、5年間継続して実施するキャリア教育の支援、家庭教育の充実に関する支援、青少年の健全育成の支援など、現代社会が持つ課題に対応した講座を実施する。 1 多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて取り組むテーマ (超高齢社会への対応、環境問題、いのちの学習、健康、防災教育、科学【拡充】、国際理解【新規】) 2 キャリア教育の支援 (大学生のためのキャリアプランニング講座、子どものハローワーク講座) 3 家庭教育の充実に関する支援 (家庭教育講座、わらべうたと絵本の会、親子であそぼう、孫育ち講座、子ども読書講座、子育て講演会) 4 青少年の健全育成の支援 (子どもチャレンジ教室【拡充】、青少年の日フェスタ、子ども読書まつり)	1 5 2 3 9 1 4

#### ウ 指導者養成事業

生涯学習の推進には「人づくり」(人材養成)が重要であり、コミュニケーション力、コーディネート力のある人材の育成を図る。多様な市民公益活動に対応した研修を行うとともに、他の事業や情報提供・学習相談とも連携を図ることで、次の活動や実践につながるような支援、研修等を行う。

事業名称	内 容 (講座等)	予定回数
指導者の養成	地域の生涯学習活動を支援するために、市民、生涯学習施設職員等を対象に指導者養成講座を開催する。 1 生涯学習指導者研修 (1)基礎研修	2

	(2)実践研修 (3)学校・地域支援者研修 2 生涯学習関係職員研修（公民館職員研修） 3 生涯学習コーディネーターの養成 4 スタッフ研修 5 施設ボランティア担当者研修	3 5 5 1 随時 1
学習ボランティア活動の支援	当センターをはじめ、市内生涯学習関連施設で活動するボランティアの養成等を行うとともに、施設ボランティア（まなびサポーター）の活動を支援する。 1 施設ボランティア（まなびサポーター）養成 (1)施設ボランティアの養成基礎研修 (2)施設ボランティアフォローアップ研修 (3)まなびサポーター連絡会 2 学習ボランティア活動支援 (1)まなびサポーター（デジカメ分野）による「デジカメ相談会」 (2)まなびサポーター（パソコン分野）による「パソコン相談コーナー」 (3)まなびサポーター（講座支援分野）による市民向け講座 (4)まなびサポーター（映像記録分野）の活動 (5)まなびサポーター（上映会分野）の活動	5 8 1 2 4 6 0 4 随時 8 1
ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	1 生涯学習ボランティアの登録受付・登録者名簿の作成・配布 2 登録ボランティアが編集する「ボランティアタイム」発行の支援 3 ちば生涯学習ボランティアセンター登録者説明会 4 ちば生涯学習ボランティアセンターの普及、利用促進事業	
キャリア研修生等の受入れ	教職員の社会体験派遣研修、大学生の社会教育実習、インターンシップ及び中学生の職場体験学習の場を提供する。 1 社会体験派遣研修（教職員） 2 社会教育実習（大学生） 3 インターンシップ（大学生） 4 職場体験学習（中学生）	随時 随時 随時 随時

## エ 生涯学習に関する調査及び研究

市民ニーズに対応した生涯学習活動を推進するため、市民を対象にした生涯学習意識調査や現代的課題等についての調査研究を実施する。なお、調査研究結果については、当センターの運営に活用することで市民への適切な生涯学習支援を行う。

事業名称	内容（講座等）
年間事業報告書の作成・配布	年1回、生涯学習センターの講座等の前年度実績などを掲載した年間事業報告書を作成し、関係機関へ配布する。ホームページに公開し、市民へ情報公開する。作成部数 600部
生涯学習に関する調査研究	市民ニーズや時代の要請に対応した学習活動を推進するための調査研究を行い、市民の生涯学習活動に関する実態等を把握し、報告書を関係機関へ配布する。調査研究結果については、ホームページに公開して市民に情報を提供するとともに、次年度の学習プログラムの改善や生涯学習センター事業に役立てる。

### オ メディア学習事業

市民ニーズの高いパソコン学習講座、視聴覚事業、映画鑑賞会の開催、マルチメディア体験ブースの運営等を行うとともに、新しい時代の学習活動を積極的に取り入れた学習講座の開設と視聴覚機器やパソコン・AV機器に関する学習機材・教材の運用を行う。

事業名称	内容（講座等）	予定回数
パソコン講座	市民の学習ニーズに対応して、講座の難易度を初級・中級・上級の習熟度別クラスに分けて実施する。	
	1 初級パソコン講座	
	(1)入門・初心者向け講座（公民館出前パソコン講座）	196
	(2)子ども向け講座	1
	(3)未就学児・小学生と保護者のための講座	1
	2 中級パソコン講座	
	(1)デジタルカメラの講座	10
	(2)ワード講座	16
	(3)エクセル講座	16
	(4)パワーポイント講座	6
	(5)画像の編集活用講座	10
	3 上級パソコン講座	
	(1)ホームページ作成講座	15
	(2)エクセル講座（応用編）	9
	(3)ワード講座（応用編）	9
	(4)パワーポイント講座（応用編）	6
4 デジタルビデオ編集講座	6	
5 市民自主企画パソコン講座（公募）	40	
6 施設ボランティアによる講座【拡充】	116	

視聴覚事業	<p>1 6mm映画、ビデオ等学習教材を収集・貸出するとともに、操作講習会を実施する。また、所有する名画の上映会を当センターに限らず出前方式で実施する。</p> <p>1 視聴覚ライブラリーの運営（16mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材を学校や公民館等への貸出）</p> <p>2 視聴覚ライブラリーの収集・管理（16mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材の計画的な収集及び管理）</p> <p>3 16mm映写機操作講習会</p> <p>4 視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施</p> <p>(1)木曜名画座</p> <p>(2)月曜クラシック上映会</p> <p>(3)親子アニメ上映会</p> <p>(4)夜間上映会</p> <p>(5)地域交流幼児向け上映会</p> <p>(6)出前上映会</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>1</p> <p>2 4</p> <p>2 4</p> <p>2 4</p> <p>4</p> <p>6</p> <p>5</p>
マルチメディア体験ブースの運営	<p>子どもから高齢者まで多くの市民が、マルチメディアを体験できる場を提供する。</p> <p>1 PCブースの提供 インターネットの閲覧</p> <p>2 AVブースの提供 VHSソフト、DVDソフトの視聴</p>	<p>通年</p> <p>通年</p>
メディアリテラシーに関する学習	<p>インターネットや携帯電話の適切な利用方法などメディアリテラシーに関する講座を実施する。</p> <p>1 メディアリテラシーに関する講座</p>	<p>1</p>
情報端末機器の操作等に関する講座	<p>携帯電話等の情報端末機器の機能や操作方法を身につける講座を実施する。</p> <p>1 情報端末機器の操作講習【拡充】</p>	<p>2</p>
生涯学習関連施設メディア学習支援事業	<p>メディア学習機会の提供を広域的に推進するため、パソコン講座を開催しようとする公民館に対して必要な機材を貸与する。</p> <p>貸与する機器</p> <p>ノートパソコン 11台（受講生用10台＋講師用1台）</p> <p>プリンター 1台 他</p>	<p>随時</p>

## カ 生涯学習活動の支援に関する事業

市民の自主的・主体的な学習活動への支援を行うとともに、更なる学習の向上を図るため、学習成果の発表の場を提供する。

事業名称	内容（講座等）	予定回数
市民の学習活動への支援	市民が自主的・主体的に学ぶための支援を行う。また、講座運営のノウハウなどの個別相談にも対応する。 1 市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助 市民自主企画講座（公募）	36
学習成果の発表の 機会の確保	市民の活発な学習活動を自己完結させることなく、更なる学習の発展を図るとともに、他の市民への生涯学習の啓発を図るため、学習成果の発表の場の提供を図る。	
	1 まなびフェスタの企画・実施（12月7・8日）	2
	2 学習成果の発表の機会の提供 （高等学校演劇発表会、舞台照明講座、高齢者学習発表会）	18
	3 鑑賞機会の提供 （やすらぎのアトリウムコンサート、けやきコンサート）	8

## ② 施設管理業務

### ア 開館日・開館時間

次の休館日を除く通年開館とし、開館時間は午前9時～午後9時とする。  
ただし、予約時に開館前及び閉館以降に使用する希望があれば、適宜対応する。

- ・毎月第4月曜日（祝日法の休日にあたる時は、その翌日。）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

### イ 施設貸出業務

生涯学習センターの施設及び附属設備の利用受付・貸出を行う。

また、施設の入場・退場に関する手続きを適正に行うとともに、附属設備の利用者に対し、利用方法の説明、指導等のサポートを行う。

#### (ア) 利用カードによる施設予約受付業務

- a 利用カードにより、施設予約やマルチメディア体験ブース利用時の申請を簡略化する。
- b センター施設の予約状況をインターネット上で確認できる。また、パソコンや携帯電話で施設予約システムを使って仮予約することができる。

#### (イ) 減免基準及び減免額

- a 障害者及び障害者団体が使用する場合は、利用料金の50%相当額を減額する。
- b 空き施設の利用効率を高めるため、以下の場合には利用料金の30%相当額を減額する。
  - (a) ホール利用者が利用当日前1か月以内に練習のみに使用する場合
  - (b) ホール、映像音声加工編集ブース、アナウンスブース、デジタル音楽室を除く空き施設を直前（当日～1週間前）に申し込み使用する場合



#### ウ 駐車場使用料の徴収・納入業務

駐車場の利用者から、使用料を徴収し、教育委員会の指定する金融機関に翌営業日に納入する。

#### エ 生涯学習センターホームページの運営

- (ア) ホームページを、随時更新し、施設の利用案内や講座・学習情報等の広報活動を行う。
- (イ) ツイッターによる講座イベント情報の発信をする。

#### オ その他業務

- (ア) 施設利用者の利便性及び安全性に十分配慮した接客等を行う。
- (イ) 施設利用促進のため、ホームページの運営をはじめとして施設案内パンフレット、情報紙等による広報活動を、積極的かつ効果的に行う。
- (ウ) 各種問い合わせや見学者への対応など、施設利用者の円滑な活動のための必要な支援を行う。
- (エ) 新たに従事するスタッフに対しては窓口対応研修を、その他全員のスタッフを含めて随時専門研修を実施する。
- (オ) その他、急病や災害時には、市や医療機関、関係機関と協力し、的確に対応を図る。

### ③ 維持管理業務

建築物施設保守管理業務、建築設備保守管理業務、清掃業務、警備業務、植栽維持管理業務、敷地内施設維持管理業務、環境衛生管理業務、備品等保守管理業務を行う。

## (2) 自主事業

当センターが実施する自主事業は、市民の生涯学習活動に貢献するために、市の生涯学習推進に関する基本方針に沿った講座・イベントの企画・誘致事業等を行う。また、各種関係機関や市民・大学等地域の人材とネットワークを最大限活用した事業を実施する。

### ① 市民の学習ニーズに合わせた講座等の実施

#### ア 市民ニーズに合わせた講座の開催【拡充】

市民ニーズの高い講座を実施することにより、市民の学習意欲を喚起するとともに、生涯学習センターの利用促進を図る講座を民間事業者等と協力(事業連携)して実施する。

事業名称	市民ニーズに合わせた講座の開催
対象	市民
時期	講座による
回数・時間	講座による
定員	講座による
内容	民間事業者、NPO法人等との連携による、専門性・特色を活かした市民講座 (千葉県シルバー人材センター、東京ガス株、中央・稲毛公園緑地事務所、轟そばの会、NPO法人ハグミィ)

## イ 専門性、特色を活かした市内大学等との公開講座【拡充】

専門性、特色を活かした市内大学等の公開講座を開催し、市内の生涯学習活動を促進するための学習の機会を提供する。

事業名称	専門性、特色を活かした市内大学等の公開講座
対象	市民
時期	講座による
回数・時間	講座による（6講座）
定員	講座による
内容	市内大学等との連携講座（千葉大学、淑徳大学、東京情報大学、神田外語大学、敬愛大学、立正大学）

## ウ 埋蔵文化財に関する講座

市内の遺跡（埋蔵文化財）についての周知を図り、郷土の歴史等についての興味・関心を持たせるための学習の機会を提供する。

事業名称	埋蔵文化財に関する講座
対象	市民
時期	①ちば埋文講座（5月、6月、7月、8月） ②埋蔵文化財ロビー巡回展講座（11月、12月、1月）
回数・時間	①2時間×4回 ②2時間×3回
定員	各回 50人
内容	①千葉市の遺跡についての学習機会を提供し、郷土「ちば」の歴史について理解を深める。 ②市内の遺跡についての周知や保護思想を育むための講演会を、ロビー巡回展に併せて開催する。

## エ 生涯学習関連施設メディア学習支援事業

メディア学習機会の提供を広域的に推進するために、パソコン講座を開催する公民館に対して必要な機材を提供する。

事業名称	生涯学習関連施設メディア学習支援
対象	全47公民館
時期	4月～3月
内容	ノートパソコンほか周辺機器 3セット （1セットの内訳） ノートパソコン 11台（受講生用10台+講師用1台） プリンター、プロジェクター、スクリーン 各1台 他

② 生涯学習センターをPRするために有効なイベント等の開催

千葉市の生涯学習拠点として、さらに認知度・利用度を高め、当センターに何度でも足を運んでもらえるよう、各種イベントを充実させることにより、市民に対して当センターを認知してもらい、関心を持ってもらう機会を提供する。

ア ボランティアフェア

事業名称	ボランティアフェア2013
対象	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者及び関係機関
時期	11月～12月
回数・時間	1回(10日間)
定員	—
内容	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者や千葉市内のボランティアに関わる機関等の活動を、アトリウムガーデンにおいてパネル展示等を中心に紹介する。

イ ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による演奏会

事業名称	ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による演奏会
対象	市民
時期	8月
回数・時間	75分×1回
定員	250人
内容	室内楽コンサートを、千葉県環境生活部県民交流文化課と共催で開催する。

ウ 音楽コンクール等の誘致

事業名称	音楽コンクール等の誘致
対象	市民
時期	7月～8月
回数・時間	10時～18時 4日間
定員	250人
内容	市内を中心に活動している実施団体の音楽コンクール等の事業を誘致し、生涯学習センターの利用促進を図る。

エ 有名人・著名人等による講演会の開催【新規】

事業名称	有名人・著名人等による講演会の開催
対象	市民
時期	講座による
回数・時間	講座による
定員	250人
内容	有名人・著名人等を講師に迎え講演会を実施し生涯学習センターのPRを図る。 ①きかんしゃトーマスキャラクターショー ②つくってあそぼショー 他

### ③ 千葉市の生涯学習の発信拠点としての展示等の開催

生涯学習の中核的施設としての役割を果たすため、公的施設、高等教育機関、NPO等の市民団体ごとに提供されていた「ちば」に関する情報を集約し、市民に提供する。

#### ア 地域学（ちば学）展示

事業名称	地域学（ちば学）展示
対象	市民
時期	4月～5月
回数・時間	1ヶ月
内容	千葉大学、千葉県立博物館、千葉市立加曽利貝塚博物館、千葉市立郷土博物館、千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉商工会議所、千葉市観光協会、NPO法人郷土ちばに学び親しむ会、NPO法人ふるさと文化研究所などと連携して、事業案内、施設案内、学習教材の配布や展示を行い、「ちば」に関する情報を市民に提供する。

#### イ 千葉公園紹介展示

事業名称	千葉公園紹介展示
対象	市民
時期	6月～9月
回数・時間	2回 9時～21時
内容	千葉公園に関する情報、写真等の展示をし、施設の紹介を行う。

#### ウ 遺跡学展示

事業名称	遺跡学展示
対象	市民
時期	12月～3月
回数・時間	2回 9時～21時
内容	市内の遺跡等から発掘された埋蔵文化財や、発掘資料等を展示し、市民への周知を行う。

## 2 千葉市美術館

展示事業として「仏像半島-房総の美しき仏たち-」など各種企画展を6回、所蔵作品展を5回開催する。教育普及事業では、企画展に関連した講演会や、学芸員・ボランティアによるギャラリー・トーク、ワークショップを企画・実施する。また学校との連携として、小・中学生を対象として行っている鑑賞教育等を行うとともに、23年度より実施している高校生の入場料無料化を活用して、千葉県内高等学校との連携による教育普及事業に努める。

### (1) 指定管理受託事業

#### ① 展示事業

「仏像半島-房総の美しき仏たち」展をはじめとする企画展及び市民展（第45回千葉市民美術展覧会）合わせて6回と、美術館所蔵作品展5回の合計11回の展覧会を実施する。

#### ア [企画展 1]

企画展名	仏像半島-房総の美しき仏たち
期 間	平成25年4月16日（火）～6月16日（日） 59日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	なし
内 容	豊かな大地と海とを背景に、多くの寺院が建立され、さまざまな造形活動が展開されてきた房総半島。その各地から厳選された仏像百余体を展覧し、房総の仏教文化の全容に迫る。新出あるいは展覧会への初出品資料を多く含み、野趣と洗練をあわせ持つ、房総ならではの祈りの造形を浮き彫りにする。

#### イ [企画展 2]

企画展名	彫刻家・高村光太郎展 <small>たかむらこうたろう</small>
期 間	平成25年6月29日（土）～8月18日（日） 49日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	井原市立田中美術館 碧南市藤井達吉現代美術館
内 容	高村光太郎（1883～1956）の生誕130周年の節目を迎えて開催される本展覧会では、彼が影響を受けたロダン（1840-1917）をはじめとするヨーロッパの彫刻家、佐藤 <small>さとう</small> 朝山 <small>あさやま</small> （1888-1963）や藤川 <small>ふじかわ</small> 勇造 <small>ゆうぞう</small> （1883-1935）などの同時代の日本の彫刻家たちの作品、そして妻・智恵子 <small>ちえこ</small> （1886-1938）が制作した紙絵を併せて展示する。

#### ウ [企画展 3]

企画展名	ジョルジュ・ルオー展
期 間	平成25年10月1日（火）～11月17日（日） 46日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	なし
内 容	フランスの画家ジョルジュ・ルオー（1871-1958）の作品は、その信仰に支えられた深い精神性をたたえた画風と独特のマチエールが早くから日本でも紹介され、画家や文化人を中心に人々に愛され受け入れられてきた。本展覧会では、国内に複数存在する優れたコレクションの中から油彩・水彩による絵画作品及び版画作品を選び、その画業を紹介する。ルオーの大規模な展覧会は千葉では初めてとなる。

## エ [企画展 4]

企画展名	かわせ はずい 川瀬巴水展
期 間	平成25年11月26日(火)～平成26年1月19日(日) 46日間
主 催	千葉県美術館 NHKサービスセンター
巡 回 先	山口県立萩美術館・浦上記念館(ほか1～2会場巡回の可能性あり)
内 容	大正から昭和にかけて日本各地の風景を描き続け、「近代の広重」と称された木版画家川瀬巴水の大回顧展。生誕130年を記念し、その全貌を改めて検証する。版元である渡邊木版美術画舗の全面的な協力を得て代表作を網羅するほか、写生帖や日記、異刷など多くの初公開資料もあわせ、作家の人となりや制作の過程にも光を当てる。

## オ [企画展 5]

企画展名	江戸の面影 浮世絵に見る都市の生活と美(仮称)
期 間	平成26年1月25日(土)～3月2日(日) 36日間
主 催	千葉県美術館
巡 回 先	なし(予定)
内 容	長く太平の世が続いた江戸時代。その中心都市江戸には、独特の文化や美意識が形成された。浮世絵はその代表的な産物であるが、そこに表された風俗や生活について詳細に検討した総合的な美術展はこれまで行われていない。江戸の生活風俗に関わる質問が来館者からも多いことから、そのニーズにも応えながら、江戸という都市らしい特徴のある文化や生活風俗のあり方を浮世絵の名品を通して検証する。

## カ [企画展 6] (市民展)

企画展名	第45回千葉市民美術展覧会
期 間	平成26年3月8日(土)～3月28日(金) 21日間
主 催	千葉県美術館・千葉市美術協会・千葉市文化連盟
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。

## キ 所蔵作品展Ⅰ

所蔵作品展名	高村光太郎の周辺
期 間	平成25年6月29日(土)～8月18日(日) 49日間
内 容	近代洋画を中心に、光太郎と関わりのあるアーティストを紹介する。

## ク 所蔵作品展Ⅱ

所蔵作品展名	りんぱ じゃくちゅう かちょうふうげつ 琳派・若沖と花鳥風月
期 間	平成25年8月27日(火)～9月23日(月・祝) 27日間
内 容	琳派・若沖作品を中心に植物、動物、自然を表した作品を展示する。

### ケ 所蔵作品展Ⅲ

所蔵作品展名	祈りと美術
期 間	平成25年10月1日(火)～11月17日(日) 46日間
内 容	ルオー展にちなみ、祈りや信仰といった精神性を主題とした近・現代の作品を中心に展示する。

### コ 所蔵作品展Ⅳ

所蔵作品展名	渡邊版-新版画の精華
期 間	平成25年11月26日(火)～平成26年1月19日(日) 46日間
内 容	企画展「川瀬巴水」にあわせて巴水以外の作家による渡邊版を展示、大正初期に錦絵の復興を果たした版元渡邊庄三郎の仕事を検証する。

### サ 所蔵作品展Ⅴ

所蔵作品展名	新収蔵作品展「画人たちの1万時間～写生・下絵・ <small>ふんぼんるい</small> 粉本類を中心に～」(仮称)
期 間	平成26年1月25日(土)～3月2日(日) 36日間
内 容	近年千葉市美術館に収蔵された作品を公開する。

\* 上記の展覧会名は変更する場合があります。

## ② 教育普及事業

### ア 展覧会関連の各種講座やギャラリー・トークなど

講座等種別	内容	回数
企画展関連の講演会	展覧会の内容に関わる専門の知識を持つ講師を依頼し、講演会を開催。	企画展会期中 1～2回
市民美術講座	スライドを用いながら千葉市美術館のコレクションや展示の内容を分かり易く解説し、所蔵作品展及び展覧会への理解を深める講座。	年間10回
ワークショップ(学芸員中心)	教育普及担当の学芸員が中心となって、企画実施するワークショップ。	年間2～3回
ワークショップ (ボランティア中心)	多色摺木版画のワークショップが好評。ボランティアの自主的な活動を尊重しながら実施する。	年間2～3回
ギャラリー・クルーズ	夏休みにふさわしい鑑賞プログラムを組み、子ども達だけの来館を鑑賞リーダー(ボランティア)がサポートする。	夏休みの2日 程度
ギャラリー・トーク	学芸員またはボランティアが展覧会の見所を分かり易く解説しながら、来館者と共に展示室で作品を巡る。	年間70回程度
講師の派遣による講座	市内の学校、公民館など公的施設からの美術講座の依頼に対応し学芸員を派遣、美術の普及に努める。	年間5回程度

## イ ボランティアスタッフとの協働

ボランティアスタッフ 27 人（平成 25 年 1 月現在）により、ギャラリー・トークを実施する。引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するほか、千葉市生涯学習センター主催の「まなびフェスタ」への参加や、地域とも連携して美術館へのアクセスを考えるグループの活動も行う。また、自主的な勉強会等を通してボランティアスタッフ全体のスキルアップに努める。

## ウ 学校等との連携事業

種別	内容
小・中・特別支援学校鑑賞教育	児童生徒が、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに 6～8 人のグループに分かれて展覧会を鑑賞する事業。年間 20 校。（学校の自主的な来館も同様の対応）。
千葉市図工・美術担当教諭鑑賞一日研修	千葉市教育研究会造形部会と協力し、美術館の借り上げたバスで、県内・都内などの近隣の美術館を見学して、美術館での鑑賞教育への理解を深める。
千葉市教育研究会 中学校造形部会 美術館活用グループとの連携	中学校造形部会（美術科の教員）のグループメンバーとともに学芸員が、鑑賞教育等について意見を交換し、授業等での美術館活用案を検討し、実践する。浮世絵データベースの活用方法についても引き続き検討する。
中学生の職場体験学習	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。
高等学校の利用の促進	高等学校生徒の利用を促進するため、千葉県教育研究会高校美術・工芸部会等を通して教職員への働きかけを行い、授業等での利用を促す。

## エ 地域との連携によるアウトリーチプログラム等

種別	内容
千葉アートネットワーク・プロジェクト (通称WiCAN)	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域 NPO、市内の小中学校等と連携、市内外の芸術家を核に据えて展示やアートイベントを実施。
千葉大学との連携	千葉大学の授業の中で美術館を活用してもらい、学生参加の企画を展示する等の活動を実施。また美術史の授業に学芸員を講師として派遣、受講者のための美術館での見学会も予定する。
県内の美術館・博物館との連携	千葉市美術館は、千葉県博物館協会、近隣美術館会議などにおいても先導的な役割を果たしており、今後も一層県内の美術館、博物館との連携力を強めて、企画や事業に生かす。



## オ 博物館実習

大学で博物館学芸員の資格を取得する学生を対象として、博物館実習を実施する。  
(年間2グループ延べ24人まで。各グループ延べ6日。)

## カ 図書室の管理運営

市民が自ら調査研究することを支援する目的から、美術館図書室にふさわしい図書を中心に充実させるとともに、利用しやすくするよう努める。

### ③ 収集事業

千葉市と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図る。

### ④ 保存事業

収集作品の性質・現状を十分考慮し、管理には細心の注意を払い、必要なものに修復を施すとともに、保存・保管に万全を期す。

### ⑤ 調査研究事業

調査研究の成果について、研究紀要等をはじめとする出版物等をもって公表し、市民へ情報サービスとして提供していく。

### ⑥ 施設管理事業

#### ア 施設の利用

市民ギャラリー・講堂・講座室を団体等へ貸し出し、さや堂ホールにおいては、企画展等の関連コンサートなどを開催するほか、貸しホールとしても積極的に活用を図る。  
また、図書室の市民利用の促進をはかり、美術全般への関心を促す。

#### (7) 開館日

次の休館日を除く通年開館とする。

- ・毎月第1月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日。）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

#### (イ) 開館時間

- ・展示室 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・市民ギャラリー 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・さや堂ホール・講座室・講堂  
午前10時～午後9時

## イ 維持管理業務

建築物保守管理業務、遠方監視業務、設備機器管理業務、備品管理業務等、「千葉市美術館管理運営の基準」に基づく管理業務を実施する。

## (2) 自主事業

市民芸術文化の拠点としての美術館の設置目的を果たすにあたっては、指定管理受託事業を補完するための自主事業の企画は、きわめて重要であり、美術などの芸術文化に親しんでもらうため、講座などの多様なイベントを実施する。

### ① 友の会運営事業

市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、「千葉市美術館友の会」を運営する。

### ② イベント・講座

イベント・講座名	内容	回数
友の会バスツアー	美術関連の様々なテーマを設定して、バスツアーを企画実施し、職員と会員や会員同士の交流を深める。	年1回
講師派遣	公的施設、また民間団体からの依頼に応じて、展覧会や所蔵品等に関わる美術講座の講師を派遣する。	年2～3回

### ③ 地域連携事業

美術館の認知度を高めるため、千葉市美術館に近接した商店街や他の施設と連携して事業を展開する。

### ④ 美術館関連商品販売事業

美術館のオリジナルグッズ等を作成、販売することにより収益の向上を図るとともに、美術館の魅力を高め、美術の振興に寄与する。

### 3 千葉市民ギャラリー・いなげ

指定管理受託事業として、展示事業、講習会、展示室・制作室の貸出および「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の公開管理事業を行うとともに、当ギャラリーの認知度を高め、多くの市民の利用促進を図るため、当ギャラリーの特色を活かした自主事業を実施する。

また、当ギャラリーの運営にあたっては、ボランティアの活用など市民と協働し、更なる施設の活性化を目指す。

#### (1) 指定管理受託事業

##### ① 展示事業

展示事業名	夏の企画展 1部「世界児童画展」2部「創造海岸いなげ展」
期 間	平成25年8月6日(火)～8月18日(日)
内 容	(1部)「世界児童画展」優秀作品の展覧会を開催 (2部)千葉市にゆかりのある若手の作家と近隣中学校美術部員の展覧会

展示事業名	白井綾写真展
期 間	平成25年12月25日(水)～平成26年1月12日(日)
内 容	千葉大学との連携事業 普遍教養科目展開「展示をつくる」展覧会

展示事業名	橋本トモコ絵画展
期 間	平成26年1月22日(水)～2月9日(日)
内 容	親しみやすい作品で高い評価を得ている千葉県出身の現代美術家の個展

##### ② 講習会等

講習会名	春のスケッチ大会
期 日	平成25年5月3日(金・祝)
対 象	小学生から一般まで 20名
内 容	新緑の陽光に包まれた別荘を思い思いの画材で表現する。(作品はロビー展示)

講習会名	教職員実技講座(3日)
期 日	平成25年7月30日(火)～8月1日(木)
対 象	千葉市在勤の小・中学校図工美術担当の教員 10名
内 容	授業に役立つ新しい画材や方法を、実技を通して習得する。

講習会名	夏休み 子ども美術講座
期 日	平成25年8月3日(土)～4日(日)
対 象	地域の小学校の3～4年生 20名
内 容	夏休みに自由でのびやかな造形表現を楽しむ。

講習会名	秋休み 子ども美術講座
期 日	平成25年10月12日(土)～10月13日(日)
対 象	地域の小学生 20名
内 容	稲毛あかり祭の夜、ギャラリー庭園に展示する灯籠を作成する。

講習会名	秋のスケッチ大会
期 日	平成25年11月9日(土)
対 象	小学生から一般まで 20名
内 容	黒松との調和が美しい別荘や庭園を描く。(作品はロビー展示)

### ③ 施設活用事業

制作室・展示室を美術等の芸術・文化活動の拠点及び発表の場として各種団体等への貸し出しを行う。

#### ア 開館時間

- ・展示室 午前9時～午後5時15分
- ・制作室 午前9時～午後9時

#### イ 休館日

- ・月曜日(祝日法の休日にあたる時は、その翌日。)
- ・年末年始(12月29日～1月3日)

### ④ 歴史的建造物公開管理事業

稲毛の歴史・文化の理解や関心を深めるために、国の登録有形文化財で歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

#### ア 公開時間

午前9時～午後5時15分

#### イ 休館日

- ・月曜日(祝日法の休日にあたる時は、その翌日。)
- ・年末年始(12月29日～1月3日)

## (2) 自主事業

事業名	山口マオ 木版画ワークショップ
期 日	平成25年6月8日(土)
対 象	市民一般 30名
内 容	イラストレーターの中口マオ氏を招き、木版画のワークショップを行う。

事業名	茶道に親しむ会「親子お茶会」
期 日	平成25年7月20日(土)
対 象	地域の小学生(小1～小4)の親子 15組
内 容	小学生の親子を対象に、日本の伝統文化「茶道」に触れる機会を提供する。

事業名	佐藤信太郎写真講座 「夜景を撮る」
期 日	平成25年11月23日（土・祝）
対 象	一般市民 10名
内 容	デジタル一眼レフカメラ及びコンピュータ加工の基本操作を学びながら、夜景撮影の技術を習得する。（作品はロビー展示）

### （3）その他

#### ① 広報

ア 施設及び事業内容周知のために以下の印刷物を来館者はじめ各公共機関、学校、商店街等に配付する。

- ・「千葉市民ギャラリー・いなげ」のパンフレット
- ・「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」のパンフレット
- ・周辺散策マップ（スタンプラリー）
- ・「海気館通信」（別荘周辺の歴史発信）
- ・「べっそうのネコから」（小学校3年生向けの学習資料）

イ ホームページの内容を充実させるとともに、ブログ、ツイッターでの発信を行い市民の声を事業改善に反映できるように努める。

#### ②利用者懇談会

施設の維持管理及び事業に関し、地域の人々や利用者と意見交換を行う。懇談会は地域の学校関係者、地元商店街関係者、施設利用代表者、その他で構成する。

#### ③ボランティア

ア 花壇ボランティア 庭園等の整備

イ 芸術ボランティア 企画展、講習会等での指導・助言および補助

#### 4 埋蔵文化財の発掘調査及び普及事業

埋蔵文化財を記録として保存するための発掘調査、整理作業及び小・中学校等への出前授業や、収蔵資料を活用した巡回展等による埋蔵文化財保護思想の普及啓発活動を行う。

##### (1) 埋蔵文化財発掘調査事業（受託事業）

埋蔵文化財発掘調査事業は、埋蔵文化財を記録として保存するため、発掘調査、整理・報告書刊行を行う。

番号	事業名	委託者	遺跡		調査内容
			名称	種別	
1	国庫補助事業				
	市内遺跡再整理事業	千葉市	市内全域		既報告資料の再整理
2	民間事業				
	店舗建設に伴う調査成果の整理事業	三菱地所(株)	大膳野 <sup>だいぜんのみなみ</sup> 南貝塚	旧石器・縄文時代～現代	発掘 21年7月～23年6月。17,270 m <sup>2</sup> 整理(JV)23年6月～26年5月(報告書刊行予定)
	宅地造成に伴う調査成果の整理事業	(有)開成	たかしなしろかご高品尻籠遺跡	縄文・古墳・奈良・平安時代	整理(報告書刊行)

##### (2) 文化財普及事業（受託事業）

埋蔵文化財の調査成果と収蔵資料を有効に活用するために、ロビー巡回展、ミニ企画展、パネル展等を開催するとともに、学校・公民館等への出前授業を行う。また、公共施設や市民団体の依頼を受けて講座等に職員を派遣する。これらの埋蔵文化財を活用した普及事業を通して、市民の文化財に関する理解を深め、その保護思想を培うことに努める。

##### ① 埋蔵文化財ロビー巡回展等

###### ア 埋蔵文化財ロビー巡回展

- ・開催時期 平成25年11月～平成26年2月
- ・場 所 千葉市生涯学習センター、千葉市民ギャラリー・いなげ、千葉市埋蔵文化財調査センター他2施設
- ・内 容 発掘調査が完了した遺跡及び遺物を通して、市民に広く地域の歴史を理解してもらうため、出土品等の展示を行う。また、展示期間中に講座を実施する。

###### イ ミニ企画展

- ・開催時期 平成25年7月～平成25年10月
- ・場 所 千葉市生涯学習センター、千葉市民ギャラリー・いなげ、千葉市立郷土博物館
- ・内 容 市内出土の埋蔵文化財の中から、優れた埋蔵品を選定して、紹介・解説を行う。

#### ウ パネル展

- ・開催時期 平成25年5月～平成26年1月（左記期間中の一部期間に2回程度予定）
- ・場 所 千葉市生涯学習センター、そごう千葉店他
- ・内 容 市内の主要な遺跡を、150枚程度の写真・文字パネルで紹介する。

#### エ 加曽利貝塚整理速報展

- ・開催時期 平成26年3月
- ・場 所 千葉市生涯学習センター、千葉市役所、千葉市埋蔵文化財調査センター
- ・内 容 現在、整理中の加曽利貝塚出土の遺物について、整理の進捗状況の速報や加曽利貝塚博物館に収蔵されている優品などの紹介をパネルなどとあわせて展示・解説する。

#### オ 埋蔵文化財調査センター紹介写真展

- ・開催時期 平成26年3月下旬
- ・場 所 千葉市生涯学習センター
- ・内 容 千葉市埋蔵文化財調査センターをアピールするために、調査や普及活動の風景写真を通して紹介する。

### ② 学校・生涯学習関連施設との連携

#### ア 出前授業

- ・内 容 小・中学校及び公民館等の生涯学習関連施設等に出向き、「講座」や「勾玉作り」、「火起こし」、「土器に触れる」、「古代組ひも作り」等の体験学習指導を行う。また、千葉市埋蔵文化財調査センターにおいて、夏休みに2回程度の古代体験講座を行うとともに、千葉市生涯学習センター事業と連携し、夏休みに古代組ひも作り、勾玉作り体験講座及び「古代の生活にふれる体験教室（君も体験古代ヘラップ！）」を、千葉市遺跡発表会にあわせて組ひも作りや土器復元体験を行う。

#### イ 講師派遣

- ・内 容 公共施設や市民団体などの依頼を受けて、自主講座等に職員を講師として派遣する。

### ③ 講座の開催

テーマに基づき発掘調査の成果及び研究成果を市民に広く公開することを目的とし、千葉市生涯学習センター事業と連携のうえ、自主講座を開催する。

#### ア 「ちば埋文講座」

- ・開催期間 平成25年5月～8月の月末火曜日・計4回
- ・場 所 千葉市生涯学習センター地下1階メディアエッグ
- ・内 容 埋蔵文化財に関わる様々なテーマを、市内出土の埋蔵文化財の紹介・解説を含めた内容で、専門性の高い内容の考古学講座を行う。

#### イ 「千葉市遺跡学講座」

- ・開催期間 平成25年9月～10月・計5回
- ・場 所 千葉市生涯学習センター3階大研修室
- ・内 容 埋蔵文化財に関わる様々なテーマを、市内出土の埋蔵文化財の紹介・解説を通して、考古学の基礎的な考え方などを講義する。